

回数	散布時期	対象病害虫	薬剤名	倍率(100%当り薬量)	収獲前日数	回数	10a 散布量	摘要	
特別 ①	4月上旬		展着剤(アピオンE)	1000倍	100 ml		200g	前年ヒメハダニ類が多発生している圃場では、3月下旬にハーベストオイル50倍(発芽前、回数制限無し)を散布する。 カイガラムシの発生がある圃場では、粗皮を削り本剤を散布する。 効果を高めるために、アピオンEを加用する。	
		カイガラムシ類幼虫	アフロート水和剤	1000倍	100 g	開花期まで			2回以内
1	5/20~25		展着剤(ハイテンパワー)	5000倍	20 ml		300g		
		落葉病 うどんこ病 炭疽病	オキシンドー水和剤80	1000倍	100 g	14日前まで			5回以内
		カキクダアザミウマ チャノキロアザミウマ	ジェイエース水溶剤	1500倍	66 g	45日前まで			2回以内
2	6/5~10 (開花始期)		展着剤(ハイテンパワー)	5000倍	20 ml		300g	前年落葉病が発生した圃場では、2回目から6回目の防除は規定散布量を必ず行う。 前年カイガラムシ類が発生した圃場では、天敵保護のため、2回目防除をテッパン液剤2,000倍(収獲前日まで、2回)に代えてもよい。	
		落葉病 うどんこ病 炭疽病 灰色かび病 すす点病	ベルコート水和剤	1500倍	66 g	14日前まで			3回以内
		チャノキロアザミウマ カキクダアザミウマ	ロテー水中和剤 (劇)	1500倍	66 g	7日前まで	3回以内		
特別 ②	6/15頃	落葉病 うどんこ病 炭疽病	ドキリンフロアブル	1000倍	100 ml	14日前まで	5回以内	300g	
3	6/20~25		展着剤(ハイテンパワー)	5000倍	20 ml		300g	葉面散布石灰資材(フォリオマックス)を混用すると果実の硬度維持や黒変果の軽減が期待できる。但しリン酸資材とは併用不可。 カイガラムシ重点防除回 カイガラムシ類の発生が多い圃場では、3回目から5回目まで枝幹部へも薬液がかかるように実施する。 また、前年カイガラムシ類が発生した圃場では、3回目防除をモスピラン顆粒水溶剤(劇)2,000倍(収獲前日まで、3回)に代えてもよい。	
		落葉病 炭疽病 うどんこ病	スコア顆粒水和剤	3000倍	33 g	前日まで			3回以内
		チャノキロアザミウマ フジコナカイガラムシ	トクチオン水和剤	800倍	125 g	75日前まで			2回以内
			フォリオマックス	4000倍	25 g	—			—
4	6/30~7/5		展着剤(アピオンE)	1000倍	100 ml		300g	ペンコゼブ水和剤散布時に「肌のかぶれ症状」が発生する方はシマンダイセン水和剤500倍(収獲45日前まで、2回)を使用してもよい。	
		落葉病 炭疽病	ペンコゼブ水和剤	500倍	200 g	45日前まで			2回以内
		チャノキロアザミウマ カイガラムシ類	コルト顆粒水和剤	3000倍	33 g	前日まで			3回以内
5	7/10~15		展着剤(ハイテンパワー)	5000倍	20 ml		300g		
		落葉病 うどんこ病 炭疽病	オキシンドー水和剤80	1000倍	100 g	14日前まで			5回以内
		アザミウマ類 カメムシ類 コナカイガラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	50 g	3日前まで			3回以内
6	7/25~30		展着剤(ハイテンパワー)	5000倍	20 ml		300g		
		落葉病 うどんこ病 炭疽病 灰色かび病 すす点病	ベルコート水和剤	1500倍	66 g	14日前まで			3回以内
		アザミウマ類 カイガラムシ類 イラガ類 ハスモンヨトウ	オリオン水和剤40 (劇)	1000倍	100 g	21日まで			1回以内
			フォリオマックス	4000倍	25 g	—			—
特別 ③	8/10頃		展着剤(ハイテンパワー)	5000倍	20 ml		300g	すす点病、カイガラムシ類、カメムシが多い場合は必ず散布する。 (枝幹部へも薬液をしっかりかけましょう)	
		すす点病 落葉病 炭疽病	トップジンM水和剤	1500倍	66 g	前日まで			6回以内
		カイガラムシ類 カキノヒメヨコバイ アザミウマ類 カキノハタムシガ カメムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2000倍	50 g	前日まで			3回以内
7	8/25~30	うどんこ病 炭疽病	オンリーワンフロアブル	3000倍	33 ml	前日まで	3回以内	300g	収穫・脱渋後の軟果を防止するためこの回まで十分な液量でしっかりと防除する。
		チャノキロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類	ロテー水中和剤 (劇)	1500倍	66 g	7日前まで	3回以内		
			フォリオマックス	4000倍	25 g	—	—		
特別 ④	9/10~15頃	うどんこ病 炭疽病 落葉病	ナリアWDG	2000倍	50 g	前日まで	2回以内	300g	早生品種の収穫時期が近いため、使用時期に十分留意する。カメムシ類が多い場合はアグロスリン水和剤(劇)2,000倍(収獲前日まで、3回以内)を散布する。 なお、カイガラムシ類の発生が多い圃場では、トランスフォームフロアブル2000倍(収獲前日まで、3回以内)を加用してもよい。
		アザミウマ類 カメムシ類 コナカイガラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	50 g	3日前まで	3回以内		

ラベルを必ず確認し、登録内容(倍率、収獲前日数、回数など)を遵守してください!また器具の洗浄は十分に行ってください。

暦にない薬剤を使う場合は必ず指導員に相談してください。

住宅地における農薬使用について

農薬使用者は住宅地において農薬の飛散防止措置を講ずるよう努めなければならないと規定されています。これを受けて、公共施設・住宅地に近接する場所における病害虫の防除については極力、農薬散布以外の方法をとること。ただし、やむを得ず農薬を使用しなければならない場合は注意事項(散布に関する事前の周囲への周知、飛散防止のための天候や時間帯に関する配慮)などの遵守に努め住民の健康に被害を及ぼすことのないように最大限配慮するようにしてください。